

あんど やしき いせき

安堵屋敷遺跡は花巻市役所から北東に約 7.1 kmのところにあります。

そいちがわ

遺跡のそばには北上川の支流である添市川が流れており、遺跡はこの

しぜんていぼうじょう びこうち

川によって形成された自然堤防状の微高地の上に広がっています。

はんい

安堵屋敷遺跡は、昔から広い範囲で縄文時代の遺物が見つかること

かわすじかせんきよくぶかいりょう

で知られていましたが、昭和 55(1980) 年の添市川の川筋河川局部改良

じぎょう

事業により、遺跡の一部の現状保存が不可能になったため、岩手県埋

蔵文化財センターが発掘調査を行いました。

じょうもん じ だいばん き じゅうきよあと

調査の結果、今から約 3,000 ～ 2,300 年前の縄文時代晩期の住居跡、

まいせつ ど き

ろ あとじょうい こう

いぶつほうがんそう

埋設土器、ピット、炉跡状遺構が見つかりました。また、遺物包含層

じょうもんじだいばんきちゅうようころ

どぐう

どせいひん

せつき

からは縄文時代晩期中葉頃の土器をはじめ、土偶、土製品、石器が発

かんけいどき

ふくげん

見されており、なかでも縄文土器は完形土器が見つかり、復元された

土器と合わせて 551 点を数えます。



昭和 55 年の
調査区全景
(東側から撮影)

写真提供 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター